

輪之内町立大藪小学校
校長 土井田 始

平成27年度全国学力・学習状況調査の分析および考察についてのお知らせ

晩秋の候、皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力を賜りまして誠にありがとうございます。
さて、4月に実施されました全国学力・学習状況調査の結果より、課題を分析したものをもとに、今後の教育活動についてお知らせします。

◇本校の課題と考えられる事項◇ ※全国平均のポイントよりもやや低い項目

国語

- 基礎知識を問う問題から
 - ・その学年で覚えることになっている漢字を正しく書く。
 - ・新聞のコラムを読んで、表現の工夫を見つける。
- 活用力を問う問題から
 - ・記事の内容を理解し、見出しをつける。
 - ・登場人物の行動の変化から、場面の移り変わりをみつける。

算数

- 基礎知識を問う問題から
 - ・加法の計算の確かめの方法がわかっている。
- 活用力を問う問題から
 - ・示された二組の道のりが等しくなる根拠を地図からみつけて書くことができる。
 - ・割引後の値段の求め方の中から誤りをみつけ、正しい求め方と答えを書くことができる。
 - ・四捨五入して千の位までのおよその数にすることができる。
 - ・切り上げた場合の見積りの結果から、およその合計の値を判断することができる。

理科

- 基礎知識を問う問題から
 - ・熱膨張が小さい金属について、グラフを基に考えた内容を書くことができる。
 - ・生物の生長に必要な養分のとり方について、調べた結果を基に考えることができる。
 - ・顕微鏡の名称がわかっている。
- 活用力を問う問題から
 - ・析出する砂糖の量についてグラフを基に考え、その内容を書くことができる。

質問紙調査（学習や生活環境のアンケート）

※全国平均のポイントよりもやや低い項目

- ・家庭での読書量が少ない。
- ・感想文や説明文を書くことが難しいと感じている児童の割合がやや高い。
- ・決められた宿題はできるが、学校の予習や復習をする習慣があまりない。
- ・地域や社会をよくするために何をすべきか、まわりに目を向けて考えることがあまりない。
- ・算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できていない。

以上の事項を踏まえた本校の課題

- どの教科でも基礎的・基本的な知識や技能の確実な定着を見届ける。
- 何が書かれているのか考えながら長い文章を読んだり、自分の考えを書いたりする力をつけていく。
- 理由まできちんと話ができる力を育てていく。
- さらによりよい自分にしていこうとする向上心を育てていく。

◇学校として力を入れたいこと

- ・基礎的・基本的な知識・技能の習得（授業の終末段階での習熟の時間の確保、計算・漢字テスト、検定テストと追試テストの見届け、CRT学力検査実施など）
- ・図書室利用の推進（全学級週1回利用、図書館まつりなど）、週2回朝読書の時間確保、推薦図書を各学年10冊を示す。
- ・考えの過程を大切に丁寧なノートづくり（根拠をもとに自分の考えを的確に記述→2月のノート展でノートづくりのよさを価値広める）と話し合い活動（仲間との交流の場の設定）
- ・一人一人を大切に、共に支え合い、高まり合う学級経営の推進（よさみつけ、よさを価値付ける掲示、あったか言葉キャンペーン、あいさつ運動の推進、心のアンケート、教育相談など）
- ・異年齢集団での活動を行い、思いやりの心を養う（わかたけ遠足、わかたけ遊び、わかたけの読み聞かせ、わかたけ掃除、集会活動、学級遊びなど）
- ・家庭学習の内容の見直し（プリント活用、日記、既習学習の復習など）

◇家庭で大切にしていきたいこと

- ・「早寝、早起き、朝ご飯、朝うんち」の基本的な生活習慣づくり
- ・学習時間の確保と学習の見届け（ノートの点検、励ましの声かけ、家庭学習のポスターの見届け、家庭学習パワーアップ習慣の見届けなど）
- ・コミュニケーションの時間の確保（会話、ふれあい、親子読書、町図書館の利用など）
- ・やりきったこと、乗り越えたことなど成功体験の価値付け（学習面・生活面ともに）